

## 就職指導の改善に関する研究実績報告書

学校名	北海道浦河高等学校	就職支援教員名	北 橋 秀 亮
<b>1 活動状況等</b>		※資料等がある場合は添付すること	
4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路指導部会</li> <li>・研究計画立案</li> <li>・3年進路用写真撮影</li> <li>・進路希望調査(2・3年)</li> <li>・進路ガイダンス(3年)</li> <li>・キャリアセミナー(全学年)</li> <li>・セルフプロデュース講座(2年)</li> <li>・就職セミナー(3年)</li> <li>・進路相談員面談</li> <li>・平成31年度高等学校進路指導対策会議</li> </ul>	9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路指導部会</li> <li>・外部視察</li> <li>・進学推薦会議①</li> <li>・就職校内委員会</li> </ul>
		10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路指導部会</li> <li>・外部視察報告書作成</li> <li>・進学推薦会議②</li> <li>・就職未内定者指導</li> <li>・就職内定者指導</li> </ul>
5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路指導部会</li> <li>・卒業生、就業先に対するアンケート調査</li> <li>・三学年団との進路打ち合わせ</li> <li>・専門学校・進路未決定者向け三者面談</li> <li>・公共職業安定所、進路相談員との連携</li> <li>・保護者説明会(1年)</li> <li>・進路希望調査(1年)</li> <li>・就職セミナー(3年)</li> <li>・職業人講話(3年)</li> <li>・企業訪問</li> </ul>	11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路指導部会</li> <li>・保護者進路説明会(1・2年)</li> <li>・就職未内定者指導</li> <li>・就職内定者指導</li> </ul>
		12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路指導部会</li> <li>・進路希望調査(1・2年)</li> <li>・課題研究発表会(全学年)</li> <li>・就職未内定者指導</li> <li>・就職内定者指導</li> </ul>
6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路指導部会</li> <li>・地区別懇談会</li> <li>・新規高等学校卒業生企業説明会</li> <li>・専門学校・進路未決定者向け三者面談</li> <li>・就職セミナー(3年)</li> <li>・進路相談員面談(3年)</li> <li>・インターンシップ(2年)</li> <li>・上級学校・職場見学(1年)</li> </ul>	1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路指導部会</li> <li>・就職内定者指導</li> </ul>
		2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路指導部会</li> <li>・就業観アンケート(1・2年、3年就職)</li> <li>・就職前講話(3年)</li> </ul>
		3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路指導部会</li> <li>・研究実績報告書提出</li> <li>・卒業生進路状況まとめ</li> <li>・合格者・内定者講話(中止)</li> <li>・模擬面接指導(1・2年)(中止)</li> <li>・新年度計画</li> </ul>
7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路指導部会</li> <li>・地区別懇談会</li> <li>・大学進学・就職希望者向け三者面談</li> <li>・模擬面接指導①(3年)</li> <li>・就職セミナー(3年)</li> <li>・進路相談員面談(3年)</li> <li>・進路講演会(1年)</li> <li>・企業訪問</li> </ul>		
8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路指導部会</li> <li>・就職校内委員会①</li> <li>・大学進学・就職希望者向け三者面談</li> <li>・職場見学・インターンシップ(3年)</li> <li>・模擬面接指導②(3年)</li> <li>・就職面接セミナー(3年)</li> <li>・日高教育局高等学校就職促進マッチング事業(3年)</li> </ul>		

## 2 研究の成果と課題（○は成果、●は課題）

### （1）就職後3年以内に離職する早期離職の改善に向けた企業等との連携方策

- 本校が実施しているキャリア教育が、卒業後、社会の中でどのように生かされているかについて、卒業生や就職先を対象とした追跡調査を実施し、調査結果から、地域社会において求められる人材や身に付けておくべきスキル、離職の要因等について理解を深めることができた。
- 「企業理解」「職業理解」をテーマに、放課後等を利用した企業説明会を実施し、当初の目的を達成するとともに、新規事業所の開拓や人事担当者との情報交換を通じて有益な情報を得ることができた。
- 生徒が主体的に応募前企業見学に参加することにより、企業に対して生徒・保護者の共通理解のもと、就職活動を行うことができた。企業の求める人材について生徒自身が理解を深めることにより、自己の生き方・生き方について深く考察することに繋がり、主体性をもって就職活動を行い、企業の人事担当者から評価を得ることができた。
- 学校と企業、公共職業安定所等が相互連携を図り、生徒の適切な進路活動の実現に向けて、地域の特性を踏まえ、これまで以上の体制強化や情報共有等の実現に向けた支援体制の整備が課題である。
- 卒業後も相談できる窓口を設置し、就業状況を把握する支援体制の整備が課題である。

〔参考〕過去三年離職率

2016年度卒	在職中20名、離職14名	離職率41.2%
2017年度卒	在職中25名、離職4名	離職率13.8%
2018年度卒	在職中42名、離職1名	離職率2.3%

企業アンケートでは、コミュニケーション力の違いが在職者と離職者との特徴的な相違であるとの回答が多かった。

### （2）公共職業安定所やキャリアプランニングスーパーバイザー（進路相談員）等と連携した、就職に関わる効果的な支援方策

- 進路相談員や公共職業安定所と連携し、管内企業の情報を収集し、それらを担任や生徒、保護者に提供、共有することで、生徒の特性を考えながら個々に応じた就職支援を実現することができた。
- 教育局や公共職業安定所等の関係機関が主催した様々な就職支援事業に生徒および教員が参加する中で、企業との情報共有や求人開拓の一助となり、企業の求める人材を知ること、ミスマッチを防ぐ就職支援に繋げることができた。
- 公共職業安定所と連携し、ビジネスマナー・労働法についての見聞を広める就職前講話を行い、就職前の不安の解消や就職後の相談体制の確認をすることで、卒業後も就業相談しやすい環境作りに活かすことができた。また、3年次に限らず、1・2年次においても効果的に進路支援して頂けるよう連携を深めている。
- 公共職業安定所や企業側の働きかけもあり円滑に連携を図ることができたが、学校側も生徒の希望進路に沿った事業所の開拓や関係機関との連携強化を図っていくことが課題である。
- 事前企業訪問を実施ししやすい環境を整備し、求職者と企業間のミスマッチを防ぐ体制を整備することが課題である。

## 3 次年度以降への改善策

### （1）就職後3年以内に離職する早期離職の改善に向けた企業等との連携方策

- ① 今後も卒業生の就業状況等の調査を継続。
  - ・卒業生の状況分析結果を在校生の進路指導に活かす
  - ・卒業後も就業に関する相談を受け付ける体制を整備し、公共職業安定所や企業との窓口として機能することを目指す。
  - ・企業との連携を密にし、生徒の資質・能力の育成に計画的に反映させる。
- ② 企業情報の積極的な収集と情報提供
  - ・関係機関主催の就職支援事業を活用し、事前事後指導を充実させる。
  - ・管外の企業説明会や職場見学などにも積極的に参加させるための支援策を検討する。

### （2）公共職業安定所やキャリアプランニングスーパーバイザー（進路相談員）等と連携した、就職に関わる効果的な支援方策

- ① 公共職業安定所や進路相談員等との連携を継続・強化し、生徒や保護者に対して適切な情報提供を行う。
- ② 本校のキャリア計画3カ年計画に基づき、キャリアプランニング能力の育成を図る中で、公共職業安定所等と連携して、時期や学年に応じた講演の実施や情報提供を行う。

## 参考

内定率等（2月末現在）

年度	就職希望者数	内定者数	内定率
平成30年度	59	59	100%
令和元年度（2019年度）	43	43	100%